

## Back to おがわざかじ No.111

議会だよりを読んだ感想を議員がインタビュー

紙面から得る  
情報が多い

野村勇一さん  
(下里二)

NOMURA Yuichi

—前号（No.111）を  
読んだ率直な感想を

表紙をめくると、迫力を感じる議員の皆さん  
の顔が飛び込んできました！ それぞれに「道の駅リニューアル」  
に対する考え方があり、興味が湧きました。  
また、紙面の随所に登場する住民の姿。この取材も  
そうですが、編集委員の努力と苦労が伝わって  
きます。

## —ズバリ、議会・議会だよりに物申す？！

正直、町のことには詳しくないので、紙面から得  
られる情報は多いと感じました。今回は担当の  
熱意に負けて、恥ずかしながら「議会だよりデ  
ビュー」をしてしまいました（笑）。議会の「活性化」も進  
みつつあるようです。期待して見守りたい！

野村さんイチオシの記事は  
P.19「新シリーズ 16人の  
一步」



Gikai's comment  
今後も、議会の改革・活性化に向けた取組を  
詳報していきます。「住民の皆さんと共に歩む  
議会」にご期待ください。



毎回の冊「睦々つなぐおがわざかじ」

## だから 小川が好き！

町への想いを寄稿していただくコーナー

山紫水明が  
魅力的な小川町

千野和美さん  
(中高谷)

CHINO Kazumi

私は、小川町に  
生まれ育つて  
67年になります。  
学生の頃は、都内の  
学生寮に住んで、都  
会生活を満喫してい  
ました。

卒業後、間もなく  
して小川町



に戻ったとき、なんだかほっとする「故郷・  
小川町」の良さを強く感じました。都内に住  
む知人友人が我が家に来たとき、山や川、  
田畠の自然風景を眺めて「素晴らしいねー」と褒めってくれます。

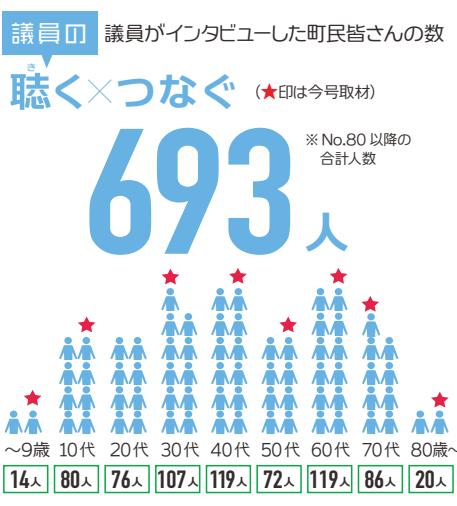
見慣れた風景が実はとても素晴らしいもの  
のなんだと再認識させられます。また、  
ここ数年小川町七夕まつりの飾りづくりに携  
わらせていただくことがあり、和紙や七夕ま  
つりが小川町の人々にとって大切な宝物とな  
っていることも実感しました。

山紫水明の自然環境や伝統文化を大切  
に守っている、そんな小川町を私は誇  
りに思います。

次の定例会は 9月3日(火)～

午前10時 開会予定

※日程は変更になる場合があります。  
詳しくは小川町ホームページへ



## • 今号の表紙 •

元気にスクスク育ってね(ママより)  
都内から移住して早4年目。「小川町生  
まれ」の愛称は1歳半でヤンチャ盛りだそう。  
指差す先には明るい未来が待ってるぜ！

**編集後記** 議会広報発行特別委員になって、まもなく1年が経とうとしています。見る聞く書く全て初体験の中で、表面平静を装いつつ、実は背中に冷や汗をかきながら会議に参加しております(最近少し慣れました)。多くの方に読んでいただける議会報を作るために、これからは脳みそに汗をかきながら頑張ります。(関根)

発行責任者：小川町議会議長 高橋功人

編集：議会広報発行特別委員会

委員長 山口勝士 副委員長 鈴木秀尚

委員 高瀬 勉・関根慶則

岡部久志・田端良成

UD  
FONT



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています